

八王子市生涯学習プラン（平成 27～31 年度） 平成 30 年度生涯学習関連事業評価

○生涯学習プランの進行と管理について

プランに掲げる生涯学習施策を推進するには、教育部門だけではなく、福祉、保健、医療、子ども、環境、産業振興など、様々な分野の計画・事業実施所管と連携し、学習提供、啓発活動、市民協働の取組を行っていく必要があります。

本市では、庁内に「生涯学習推進会議」を設置し、全庁的な体制のもとにプランを推進し、本市における生涯学習社会の実現を目指すとともに、市民委員や学識経験者等で構成する「八王子市生涯学習審議会」を開催し、市民感覚を反映した生涯学習の振興に関する施策の審議、生涯学習に関連する事業の評価を行っています。

○基本施策ごとの生涯学習関連事業評価

平成 30 年度の生涯学習に関連する事業（全 501 事業）について、事業の実施所管課が事業ごとに自己評価を行ったうえで、八王子市生涯学習審議会により基本施策ごとに評価を行いました。

基本施策 1 子どもの頃から始める学びの基礎づくり	生涯学習関連事業 96 件
----------------------------------	----------------------

■施策の方向性（生涯学習プラン）

子どもは、成長過程のさまざまな機会ですさまざまな人々と関わり、人間関係や社会での経験を積み重ねることで生きる力を育みます。市民が生涯にわたって学び続け、学んだ成果を社会で活かすことができる生涯学習社会の実現のため、人間形成の基礎となる幼児期や学齢期のうちから学びの基礎・学ぶ習慣を身に付けることが重要です。

子どもたちが健やかに育ち、豊かな人生を歩むための基礎づくりとして、家庭での教育を支援し、今まで以上に学校と地域が連携し、多様な学習機会を提供していきます。

■平成 30 年度主な取組

1-1 生きる力を育む子どもの学びと体験の充実（40事業）	
9.児童館まつり・児童館こどもシティ	地域住民や団体、学生などに協力を得て、子どもたちに遊びを通じたミニ社会体験の場を提供し、地域住民と子どもたちの交流の場となるとともに、子どもたちが社会性を身に付ける機会となった。
13.夏休み体験ボランティア	高校への PR が参加者数の大幅増加につながり、ボランティア活動体験を通じて、相互に助け合うことの大切さを学ぶ機会を提供した。
18.青少年講座	企業・大学と連携したプログラミング講座をはじめ、学校教育では体験できない学習機会を提供し、自発的・主体的な学習活動の基礎づくりに寄与した。受講者アンケートでの「大変満足」「満足」の割合 92.5%と高い満足度を得られた。
1-2 家庭教育の支援の充実（32事業）	
41.パパママ支援ワークショップ星とおひさまフィーカキャラバン	茶話会形式のワークショップにより、リラックスした雰囲気やファシリテーターの進行で参加者同士の交流を図り、家庭の教育力の向上を図った。「子育ての悩みや不安が軽くなった」とのアンケート結果が多数あり、9割の方から満足との評価を受けた。
51.のびのび子育て講座	地域の人材活用や子育て機関の協力に得て、子育ての不安や負担を軽減し、子育てを楽しむ時間を提供し、利用者のおおむね 9 割以上から良い評価を受けた。
69.ブックスタート 70.三歳児健診読み聞かせ	乳幼児健診および三歳児健診において子育てに役立つ情報の提供や読み聞かせにより、読書に親しむきっかけづくりを行い、継続的に親子で読書に親しむ機会を提供した。

1-3 学校教育活動の支援(9事業)	
74.ボランティアの教育人材バンクへの登録	学校と地域が一体となり、子どもを育む環境を整備することを目的とした、人材バンクの登録者数が昨年を上回り、多くの市民が学校支援に参加した。
77.市立小学校における環境教育支援	市立小学校の総合的な学習の時間等を実施される環境教育の支援を行った。受託先との調整が整い目標を超える18校で実施し、教育活動を支援した。
1-4 地域の教育力を活かす・高める(15事業)	
82.放課後子ども教室	1校で新規開設することができたほか、地域や学校、学童保育所担当所管と連携を図り、実施日数の増加や学習プログラムの拡充をしたことにより、多くの子どもたちに放課後の安全で安心な居場所を提供することができた。
83.浅川ガサガサ探検隊	子どもたちに浅川の自然と川遊びの楽しさを知ってもらうことで、身近な環境を大切に思う気持ちを育む機会となり、内容・参加者とも充実した事業となった。

■平成30年度 生涯学習審議会評価

様々な分野の講座や自然体験、国際交流などの学びの機会を提供し、子どもたちが豊かな人生を歩むための基礎づくりとしての事業が充実している。人間関係の形成や社会での体験など、今の子どもたちにとって何が大切かをしっかりと捉えた多様性のある講座展開が評価できる。また、子どもたちの幅広い学びの機会を学校や地域と連携しながら創出している点が評価される。

今後は、[83.浅川ガサガサ探検隊]のように、高尾山や浅川をはじめとする八王子の特徴でもある豊かな自然を活かした体験学習の機会を更に充実させるとともに、ボランティア教育人材バンクの活用や放課後子ども教室の運営では、連携の仕組みを活かし、八王子の子どもたちの学びがそれらの取組に関わる市民にとっての学びや生きがいにつながることを期待したい。

親子参加型の体験的な活動は今の時代に欠かせないものであるが、一方で子どもだけでも参加できる事業の実施は、家庭環境等によらずに様々な体験する機会を子どもたちに提供することができるのではないかと。

多様な講座がある中で子どもたちの参加をより多く得るには、保護者への認知度を高めていく工夫が必要であると考えます。SNSを活用し、登録者に直接呼びかけるなど、より積極的な広報についても検討いただきたい。

基本施策2 誰もがいつでもどこでも学べるしくみづくり	生涯学習関連事業 273件
-----------------------------------	----------------------

■施策の方向性(生涯学習プラン)

誰もが、いつでも、どこでも生涯にわたり学ぶことができるよう、読書やスポーツ・レクリエーションをはじめ、多様な学習の機会をさまざまな場所で提供します。市民が持っている知識と経験が活かされるよう、市はコーディネーターとしての役割を果たし、学習の内容を充実させていきます。

■平成30年度主な取組

2-1 身近で多様な学習機会の提供(54事業)	
111.交通安全教室	高齢者向自転車実技教室を、新たに開催するなど子どもから高齢者まで幅広い世代を対象にした交通安全教室を開催することができた。

116.エコひろばでの環境講座	環境教育・環境学習の講座を実施し、9,000名以上が参加した。また、イベントに出展するなど環境について関心を持つきっかけづくりに大きく寄与した。
130.八王子学園都市大学	学園都市という特色を活かし、高度で専門的な学習機会を継続的に提供した。多様な講座の設定により、受講者のニーズに応えることができおり満足度も高い。
2-2 読書のまち八王子の推進 (24事業)	
162.図書館まつり	各図書館では図書・雑誌のリサイクル、共通テーマ展示を行ったほか、中央図書館では、秋の朗読会、図書館いろいろ体験、ビブリオバトルなど、図書館に関連した活動を市内で行っている団体によるさまざまなイベントを実施した。3,000名を超える方の来場があり、図書館の利用促進に寄与するとともに関連団体の紹介や活動発表の機会となった。
165.おはなし会	親子を対象に本に親しむ機会を提供し、多くの子どもの読書活動の啓発に努めた。
153.高齢者施設読書活動支援事業(出張図書館)	図書館への来館が困難な高齢者の入居施設を対象に、図書の出張貸出しなどを実施し、だれもが身近に読書に親しめる環境を提供した。入居者の満足度も高く、来館が困難な高齢者の読書機会創出に貢献した。
2-3 八王子の特色を活かした文化芸術の振興 (61事業)	
187-191.郷土資料館における企画展・特別展	本市の歴史・文化をテーマにした企画展・特別展を実施。アンケートでは、好評価が多く寄せられ、多くの市民に対して八王子の歴史・文化について理解と関心を高めることができた。
198.伝承のたまてばこ～多摩伝統文化フェスティバル 2018～	市民に身近な場所で八王子に伝わる文化や芸術に親しむ機会を提供し、多摩地域の伝統文化・芸能を次世代に継承するきっかけを作り寄与した。
201.八王子音楽祭 2018(誰でも体感コンサート・街中カフェコンサートほか)	市民文化の向上・発展を目的として実施し、当日は7,000名以上が来場した。多くの人に身近な場所で優れた文化や芸術を鑑賞する機会を提供することができた。
2-4 生涯スポーツ・レクリエーションの推進 (37事業)	
251.オリンピック・パラリンピックに向けた普及啓発	オリンピックが直接指導するスポーツ教室として柔道教室、走り方教室、バドミントン教室に加え、今年度は野球教室を追加し実施した。子どもにオリンピックを身近に感じてもらい、スポーツに対する意識と競技力の向上を図った。
262.健康フェスタ・食育フェスタ	体験型ニュースポーツや体力測定・ゲームなどを通じ、健康づくりの啓発を行い、アンケート集計結果による「健康づくりのきっかけ」と回答した人の割合が平成29年度の84.6%から89%と5%増であった。また、参加人数が1万人を超え、広く市民に啓発ができた。
272.あったかホール 健康教室	複合施設として、環境以外に健康促進講座を年間を通して開催し、子どもから高齢者まで、それぞれのニーズに合った健康教室で、市民の健康づくり、健康増進に寄与した。述べ参加者数は13,000名以上で、身近な学習の場として定着しているといえる。
2-5 高齢者の生きがいづくり (45事業)	
273.シニア元気塾ボランティア入門講座	参加者に対するの修了者率が88%と高い数値であり、受講者アンケートでも好評だった。ボランティア活動のきっかけをつくり、高齢者の社会参加促進を図った。
289.シニアボランティア子ども将棋教室	シニアボランティアが講師となり、高齢者の生きがいの高揚に効果がある。子どもからの人気も根強く、続けて参加をして上達しようという意欲を持った子どもが多数参加している。

2-6 共同参画・共生社会の実現（52事業）	
334-336.中途失聴・難聴者のための手話講習会	途中で失聴した人や難聴者が手話によるコミュニケーション方法の習得に加え、生活上の不安や悩みについても相談できる環境整備に努めた。
338-339.パソコン・タブレット学習会	障害者を対象に、IT 機器を身近に感じ、生活を豊かにすることを目的に学習会を実施した。予想をはるかに上回る参加者あり、IT 機器の活用方法を知りたいという多くの障害者のニーズに対応できた。
364.就労支援	男女共同参画社会の実現に向けて、男女がともに考え自立を目指すための講座を実施した。参加者の満足度は非常に高く、特に「女性リーダー養成講座」は 3 年目を迎え、年々申込者が増加しており、ニーズの高さが窺える。

■平成 30 年度 生涯学習審議会評価

芸術からスポーツまで幅広い分野にわたり、身近な話題から広義的な話題まで多様なテーマが扱われており、幼児・子どもから高齢者まで幅広い世代に対して広く学びへと訴えている。

読書のまち八王子を推進するうえで、ブックスタートにはじまり読書感想文・感想画コンクール、図書館システムの導入、地区図書館の整備などの各事業が展開されていることは、赤ちゃんから高齢者まで、生涯を通じた読書環境を整備する政策として捉えられ、本市の生涯学習事業として特筆されるものである。今後は、読書習慣が少ない傾向にある現役世代への支援の充実も期待する。

2020 年に世界的なスポーツの祭典であるオリンピック・パラリンピック東京大会が開催されることは、貴重な機会である。市民に対する更なる普及啓発とともに、スポーツに関する講座の更なる充実を期待したい。また、パラリンピックの公式競技であるパラスポーツを「障害者のためのスポーツ」として捉えるのではなく「ユニバーサルスポーツ」として捉え、誰もが楽しめるスポーツとして普及させることが望ましいとともに、一過性の取組とするのではなく、2020 年以降のレガシーとして継続して取り組んでいくことが大切である。

学びを通じた多世代の交流が図られる[289 シニアボランティア子ども将棋教室]など、多世代の学びを通じての交流は、高齢者には生きがいを、子どもたちには多様な視点を提供することにつながっている素晴らしい取組である。今後も継続して取り組まれることを期待するとともに、健康で長生きできる社会の実現に向け、健康づくりや健康増進を目的とした運動教室や体操などの機会を一層充実していただきたい。

共生社会の実現に向けた学びとして、障害がある人も人生を豊かに過ごすきっかけとなる取組が重要である。[338・339 パソコン・タブレット学習会]は、受講者数が予想をはるかに上回るとともに受講者の生活の向上にも役立っていることは素晴らしいことであり、障害者のニーズを的確に捉えた有益な事業であると評価できる。引き続き、合理的な配慮に基づく運営がなされるよう期待する。

基本施策 3 学習成果を活かし市民がつながる生涯学習の推進	生涯学習関連事業 94 件
--------------------------------------	----------------------

■施策の方向性（生涯学習プラン）

生涯学習を通じて得た知識や経験が、自己の学びにとどまらず、社会や地域での学習活動に活かされることにより、人とひととの交流が生まれ、その交流が新たな学びや生きがいをもたらすという学習成果の循環をめざします。

この循環の実現のため、ボランティアや指導者の育成、そしてイベントの実施を通じて市民のネットワークづくりを支援し、市民団体や NPO 法人などと連携・協働した、新たな生涯学習のしくみづくりに取り組みます。

■平成 30 年度の主な取組

3-1 人材の育成と活躍の場の提供 (43事業)	
370.生涯学習コーディネーター養成講座	市民の生涯学習活動を支援する人材を養成する講座を実施し、参加者全員に、満足度の高い講座を提供できた。講座修了後の受講者が、市民活動団体に加入し新たに活動を行っている実績もある。
401.郷土資料館ガイドボランティア	常設展示ガイドの内容検討や体験学習の企画提案、運営に参加することで、日々の活動で得た知識・スキルを発揮する場を提供した。
402.はちおうじ志民塾	これから定年される方や定年を迎えた方を対象に、退職後地域で活動するきっかけづくりに寄与した。講座の受講者は毎年度入れ替わり、町会・自治会をはじめ、市民活動の中心的な役割を担う人材を生み出す結果につながっている。
3-2 学びの成果を活かす機会の充実 (24事業)	
415.八王子市内高等学校吹奏楽フェスティバル	市内高等学校吹奏楽部等の練習成果の発表会を市民を対象に実施し市民文化活動・文化交流を図った。高校生が演奏だけではなく、司会や裏方など多方面で活躍し、日ごろの成果を発表する機会を提供した。
428.南大沢コミュニティオペラコンサートとワークショップ	市民に身近な場所でオペラを作り上げる機会を提供し、芸術への市民参加と芸術の普及を促進した。また、制作を学ぶプログラムを充実し、大学生が制作に携わる機会を増やすことができた。
430.八王子地域合同学園祭 学生天国	大学コンソーシアム八王子加盟 25 大学等の学生で構成する学生委員会が主となり、パフォーマンスや活動の展示を行った。多様な媒体で広く周知を図るとともに、学生同士や市民の方々との交流の機会となり、地域の活性化に寄与した。
3-3 市民との協働による地域の活性化 (27事業)	
444.八王子国際交流フェスティバル	実施団体への補助金を通じて、気軽な国際交流の場として、多くの方に異文化に接する機会を提供した。スタッフとして外国人や学生が活躍するほか、外国人支援を行う市内のボランティア団体などの活動成果の展示などを行い、市民の国際理解の推進に寄与した。
455.八王子いちょう祭り	地域の発展と社会的な広がりを目指した、市民の手作りの事業として行われている。約52万人が来場し、市民相互の連携と地域の活性化に寄与した。

■平成 30 年度 生涯学習審議会評価

展示会やコンクールのほか、市民が参加できるフェスティバルのような市民の生涯学習活動の成果を発表する機会を提供することは、市民一人ひとりの地域社会への参加意欲の向上に寄与していると考えられる。また、これらの事業は、新たに生涯学習活動に取り組むきっかけづくりの場としても重要な機会であることから、事業のPR方法を見直すとともに、より多くの市民が参加できるよう検討されたい。

「3-1 人材の育成と活躍の場の提供」の取組は、今後、八王子市の生涯学習を展開していくうえで発展の源になると思われる。生涯学習社会を実現させるための人材育成講座や、各種ボランティア講座を多く実施していることは評価できる。また、[370 生涯学習コーディネーター養成講座]のように、受講者同士でNPO法人を立ち上げているものもあるが、講座を受講した市民が受講後にボランティアなどでどのように活躍しているか、本評価から十分に読み取れるとはいえない。今後、評価の方法について検討するとともに、学んだ人とその力を必要とする人とを結び付けるための活動の場や環境の更なる充実を期待したい。

■ 施策の方向性（生涯学習プラン）

生涯学習活動を始めたい市民、学習をより深めたい市民などに対し、講座、サークル活動、ボランティア参加などの情報を分かりやすく提供するとともに、相談体制を拡充させます。また、生涯学習施設、市民センター、各種スポーツ施設、学校施設など、市の有する施設を積極的に市民に提供するとともに、大学や企業などと連携し、市民の学習の場が更に広がるよう、生涯学習環境の充実を図ります。

■ 平成 30 年度の主な取組

4-1 生涯学習情報の収集と発信（27事業）	
467.はちおうじっ子フォトニュースの更新	学校の教育活動や生涯学習講座、図書館のイベントなど、教育委員会の取組を小・中学生向けに分かり易く情報発信し広く市民に周知を図った。
481.はちコミねっと	様々な市民活動団体の活動内容や、イベントに関する情報発信を行い、誰もが気軽に参加できる環境づくりを行っている。団体へサイト登録を呼びかけ、42 団体が新たに登録をし、情報の充実とわかりやすい情報提供につながっている。
484.「らいぶらり」の発行 486.新着図書案内の発行	図書館のイベントやお知らせ、新着図書情報などの最新情報を発信多くの利用者に情報を提供することにより、利用促進を図った。
4-2 相談体制の拡充（7事業）	
491.493.495 理学療法士による健康相談	各保健福祉センターでは、個別相談により相談者の状況に合った指導を実施。高齢者の介護予防及び QOL 向上の一助となった。
496.生涯学習相談	新設サークルに対する利用案内、市内のイベント講座情報生涯学習情報を提供するほか、学習要望に対して助言を行った。
4-3 施設の有効活用と開放（4事業）	
499.姫木平自然の家	恵まれた自然環境の中で、自然探究や様々な野外活動と集団生活を通じて、青少年の心身の健全な育成を図った。
501.フリースペース	空き学習室を自習スペースとして活用し、学生の学習を支援した。今年度は、土日祝日の開催日数を拡大することで大幅な利用者の増につながり、学生の学習需要にこたえることができた。

■ 平成 30 年度 生涯学習審議会評価

生涯学習センターの空き学習室を活用した、[501 フリースペース]は、施設の有効活用であるとともに、児童・生徒に対する放課後の「学習の場」として児童・生徒の安全面から見ても素晴らしい取組である。今後は単に「場」の提供に留まらず、世代間交流や学習指導の取組など更なる生涯学習へつながる試みを期待したい。

学習活動をサポートするための「情報発信」について、SNS など紙以外の様々な媒体を活用していることは評価できる。本市の有益な生涯学習関連事業をいかにして市民に周知するかが重要であり、紙媒体での情報提供はもちろん、SNS やインターネットでの PR は、今後更に拡充すべきであると考えます。

その一方で「生涯学習情報の収集」については、事業の印象が薄い。長年の課題であるが、各実施主体がそれぞれ発信している情報を一元化できるような仕組みを今後期待したい。また、これから生涯学習活動を始めようとする市民に対し、その敷居を下げ、初めの一步を踏み出すステップとなるような情報提供の手法を取り入れていただきたい。

基本施策 1～4 全体にわたる評価

生涯学習関連事業 501 件

■平成 30 年度 生涯学習審議会評価

年間を通して数多くの事業が展開されており、社会の変化やそれに伴う市民ニーズの変化に対応し、生涯学習環境は充実しているといえる。個々の事業においては、改良を重ねながら、一層の充実を図られたい。全体を通しては、現役世代を対象としている事業が少ないと感じる。子どもの頃から始まった学びの基礎が、生涯にわたって継続されるよう、つながりのある施策展開を期待する。

また、市民への学習・体験機会の提供について、生涯学習センターや図書館等に市民が足を運ぶのみならず、[97. はちおうじ出前講座]のような、行政から市民のもとに出向く講座を開催するなど、市民により積極的に学ぶ機会を働きかける、アウトリーチを意識した取組が今後広がることを期待したい。

さらに、本市の学園都市であるという特色を活かし、大学との連携や学生の力を活かした取組の更なる拡充により、生涯学習の一層の充実を図られたい。

生涯学習関連事業に関する評価を実施する目的を考慮すると、各事業の実施意義を確認しながら課題を把握し、具体的な改善を図ることが重要である。そのために、評価方法については、生涯学習審議会の意見が反映されて評価指標項目が設けられたが、今後は、事業ごとに「参加者数」「参加者満足度」「事業の拡充」「協働の推進」の4つの評価指標項目により評価し、それらの経年変化から事業の成熟度がわかるような仕組みを取り入れていただきたい。